



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年6月24日朝刊 西部版



平安時代の右大臣、藤原良相（ふじわらのよしむね、813～867年）の邸宅跡とされる京都市中京区の発掘現場で幅43メートルもある大規模な池の遺構や溝跡が発見され、京都市埋蔵文化財研究所が23日、発表した。同研究所は「池は9世紀後半の平安京の貴族邸宅で最大級で、小石を敷き詰めた州浜を備えた優美な姿。池が二つもあり、庭園重視の邸宅」としている。

平安貴族の住宅様式・寝殿造りは10世紀以降に成立するとされ、池の北側に主殿を配置する。今回、池の北側から見つかった建物跡は幅12メートル、奥行き7・5メートルと比較的小さく、

良相は兄の藤原良房政権で実力を誇った人物。平安時代の歴史書「日本三代実録」には、866年に清和天皇が良相邸を花見に訪れ、文人を集めて詩を詠ませたとの記述も残る。邸宅は「百花亭」とも呼ばれていた。

新たに発掘された西側の池は、東西約43メートル、南北約27メートルで、邸宅の主要な池とみられる。水際は小石を敷き詰めた州浜となっていたと見られる。以前の調査でも邸宅の東側で池が見つかり、今回の発掘調査で二つの池を結ぶ長さ約48メートルの溝が確認された。



大規模な池の遺構や溝跡が発見された発掘現場
＝23日午後、京都市中京区

研究所によると、東の池は西の池より高い位置にあり、東の池がいったいになったときだけ、上澄みの水が西の池に流れる構造で、担当者は「小川のような清らかな水の流れを楽しんでいたのでは」と話す。

邸宅は平安宮近くの一等地にありながら、敷地は120メートル四方と広大だった。北半分の発掘が終了したが、南半分は未調査。これまでに和歌とみられる平仮名が書かれた9世紀後半の土器が発掘されており、平仮名の発見としては最古級という。

平安京最大級の庭園池

京都 藤原良相邸宅跡、幅43メートル

①発見された池や建物跡は何世紀後半のものか。

() 世紀

②平安貴族の住宅様式である「寝殿造り」が成立するのは何世紀か。

() 世紀

③発見された池と建物跡が「寝殿造り」とは違うと考えられる点を2つ書きなさい。

④記事の本文中から、藤原良相の実力や権力がわかる記述を見つけ、線を引きなさい。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校／社会)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2020年6月24日朝刊 西部版



平安時代の右大臣、藤原良相（ふじわらのよしむね、813～867年）の邸宅跡とされる京都市中京区の発掘現場で幅43メートルもある大規模な池の遺構や溝跡が発見され、京都市埋蔵文化財研究所が23日、発表した。同研究所は「池は9世紀後半の平安京の貴族邸宅で、最大級で、小石を敷き詰めた州浜を備えた優美な姿。池が二つもあり、庭園重視の邸宅」としている。

平安貴族の住宅様式・寝殿造りは10世紀以降に成立するとされ、池の北側に主殿を配置する。今回、池の北側から見つかった建物跡は幅12メートル、奥行き7・5メートルと比較的小さく、

邸宅は「百花亭」とも呼ばれていた。良相邸を花見に訪れ、文人を集めて詩を詠ませたとの記述も残る。邸宅は「百花亭」とも呼ばれていた。

池の南東に主殿があった可能性があり、近畿大の網伸也教授（日本考古学）は「寝殿造り成立前の貴族の邸宅を知る上でも貴重な成果」と評価している。良相は兄の藤原良房で、実力を誇った人物。平安時代の歴史書「日本三代実録」には、866年に清和天皇が良相邸を花見に訪れ、文人を集めて詩を詠ませたとの記述も残る。邸宅は「百花亭」とも呼ばれていた。

新たに発掘された西側の池は、東西約43メートル、南北約27メートルで、邸宅の主要な池とみられ、調査で二つの池を結ぶ長さ約48メートルの溝が確認された。



大規模な池の遺構や溝跡が発見された発掘現場
＝23日午後、京都市中京区

以前の調査でも邸宅の東側で池が見つかったっており、今回の発掘調査で二つの池を結ぶ長さ約48メートルの溝が確認された。

研究によると、東の池は西の池より高い位置にあり、東の池がほぼいなくなったときだけ、上澄みの水が西の池に流れる構造で、担当者は「小川のような清らかな水の流れを楽しんでいたのでは」と話す。邸宅は平安宮近くの一等地にありながら、敷地は120メートル四方と広大だった。北半分の発掘が終了したが、南半分は未調査。これまでに和歌とみられる平仮名が書かれた9世紀後半の土器が発掘されており、平仮名の発見としては最古級という。

平安京最大級の庭園池

京都 藤原良相邸宅跡、幅43メートル

①発見された池や建物跡は何世紀後半のものか。

(9) 世紀

②平安貴族の住宅様式である「寝殿造り」が成立するのは何世紀か。

(10) 世紀

③発見された池と建物跡が「寝殿造り」とは違うと考えられる点を2つ書きなさい。

(例)

池の北側に主殿を配置する寝殿造りとは違い、池の南東に主殿があった可能性がある。

寝殿造りが成立するのは10世紀であるが、発見された池や建物跡は9世紀後半のものである。

池が二つあり、水の流れる庭園重視の邸宅であった。 など

④記事の本文中から、藤原良相の実力や権力がわかる記述を見つけ、線を引きなさい。

(例)

2段3行目「池は～庭園重視の邸宅」
3段8行目「良相は～「百花亭」とも呼ばれていた。」

6段7行目「小川のような～楽しんでいた」

6段11行目「邸宅は～広大だった。」などに線を引く。

年 組 名前